

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

変更しないでください

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和2年度の事業実績		令和2年度の目標達成度	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)	達成度	達成度の理由	
1 家庭へ向けた取り組み	1	10	(1)ブックスタートの推進	子育て支援政策課	ブックスタート事業	「単独型子育て支援センター」を主会場として、絵本などが入ったブックスタートパックをプレゼントするとともに、読み聞かせや本の選び方をアドバイスする。 対象者:9,849人 ブックスタートパック引換者:5,707人 引換率:57.9%		B	単独型子育て支援センターにてブックスタートパックの引き換えを実施するとともに、引き換えができなかった者に保育園を通じてブックスタートパックを配布した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育て支援センターが閉室していた期間があり、引き換え率が下がったもの。	
	2	11	(2)「子どもといっしょに読書タイム」の推進	資料サービス課	「子どもといっしょに読書タイム」の推進	保護者に読書の意義や大切さを伝えるとともに、家庭で実践してほしい働きかけを提案し、呼びかけを行う。	「すくすく読み聞かせダイアリー」の配布	B	市内各図書館の窓口及び、あかちゃんおはなし会等のイベントで344部配布した。	
							「としょ丸どくしよてちょう(幼児向け)」の配布、記者発表、さいたま市ホームページへの掲載。	B	記者発表、さいたま市図書館ホームページへ掲載し利用者に周知するとともに、各図書館の窓口で配布した。	
						各図書館での子育て世代・シニア世代対象の読み聞かせ講座の開催	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントを実施することが難しかったが、感染予防対策を行いながら、1館(中央)で1回開催することができた。また、子どもの本について保護者の悩みにお答えする相談会を2館(桜・北)で3回実施し、15人の参加があった。		
2 地域での取り組み	3	12	(1)地域の子ども読書活動情報の紹介	子育て支援政策課	「さいたま子育てWEB」等による情報提供	読み聞かせ、おはなし会などの活動について、「あそび場ガイドブック(旧子育てきっかけ応援ブック)」やホームページ「さいたま子育てWEB」などで情報を提供する。	「あそび場ガイドブック」(旧子育てきっかけ応援ブック)の発行	B	予定どおり30,000部作成し、配布したため	
							「さいたま子育てWEB」の運用	B	WEBトップページの閲覧数634,044PVを達成し、情報提供を行えたため。	
	4	12	(2)公民館での子ども読書活動の推進	生涯学習総合センター	公民館文庫、おはなし会等の実施	※別シートに記入してください				
	5	13	(3)児童センターでの子ども読書活動の推進	青少年育成課	児童センターにおける読書環境の整備	※別シートに記入してください				
	6	13	(4)うらわ美術館での子ども読書活動の推進	うらわ美術館	「本の出張授業」の実施	美術館の職員がしかけ絵本や造形的に芸術性の高い本を小学校へ持参し、鑑賞学習を行う。	本の出張授業	B	コロナ禍で学校からの依頼が減少し、令和元年度(24校)に比べ令和2年度(10校)と減少した。ただ、美術館職員が学校へ赴くことができなくても教職員が授業を実施できるよう、令和2年度新たに作成した参考動画やシナリオをセットにしたため、本の貸出し件数は、令和元年度(2校)に比べ令和2年度(6校)と3倍となった。	
3 図書館での取組	7.1	14	(1)読書環境の整備・充実	資料サービス課	図書館の整備・充実	乳幼児、小・中・高校生を対象に、発達段階に応じた収書、調べ学習に対応できる蔵書構成に努める。	児童書の見計らい選定会議の定期的な実施	B	各図書館の児童・地域担当職員を集め、児童書の見計らい選定会議を毎週金曜日、年間では33回実施し、子どもの成長に合わせた適切な資料を収集するよう努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、選定会議を行えない期間があり、例年に比べ開催回数は減った。	
	管理課			さいたま市図書館施設リフレッシュ計画	図書館施設について、施設の機能を適切に維持し、長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心を確保するため、適切な維持管理や改修工事を計画的に実施する。	「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」に基づき、施設改修を3館行った。	B	工事を予定どおり完了することができた。		

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書



変更しないでください

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和2年度の事業実績		令和2年度の目標達成度	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)	達成度	達成度の理由	
3 図書館での取組	8	15	(2)本や図書館に親しむイベントの開催	資料サービス課	児童向けイベントの実施	読書や図書館の利用について、子ども達の興味や関心を高めるイベントを開催する。また、大人を対象に、子どもへの読書支援を目的とした講座を開催する。	中・高校生を対象にした図書館ボランティア「さいたま・ライブラリー・サポーターズ」(リブサポ)の実施	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、また夏休み期間が短縮されたことにより、実施せず。	
							児童・生徒向けの行事開催	-	全館で231回イベントが開催され、2,975人が参加した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための閉館や参加人数を減らして開催したことにより、昨年度と比べ開催数、参加人数ともに大幅に減少したが、感染予防対策を行いながら実施できた。	
							読み聞かせや本に関する講座開催(一般対象)	-	全館で13回開催され、125人が参加した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年よりも回数・人数ともに大幅に減少した。	
	9.1	15	(3)本や図書館に関する情報発信の充実	資料サービス課	児童向け刊行物の発行	ブックリストや情報誌を作成し、各図書館で配布する。市立小・中・高等学校等へ情報提供する。	「本は王さま」の作成	B	記者発表を行い、子ども読書の日を記念して「本は王さま2020」を4,200部発行し、図書館ホームページに掲載した。また、「本は王さま2021」の作成を行った。毎年新しく出版される児童書の中から図書館員が選ぶおすすめの本を紹介することができている。	
							「としょ丸しんぶん」(年4回)発行	B	年4回(4月、7月、10月、1月)各2,000部発行し、図書館で配布及び図書館ホームページに掲載した。また、市立小学校への配布も行った。	
							「はぴ」(年4回)発行	B	年4回(4月、7月、10月、1月)各2,000部発行し、図書館で配布及び図書館ホームページに掲載した。また、市立中学・高等学校、市内の県立高等学校への配布も行った。	
	9.2			資料サービス課	Webコンテンツの充実	図書館ホームページにおいてWebコンテンツの充実を図る。	「としょ丸チャンネル」に、図書館の使い方、図書館のお仕事紹介、図書館探検、さいたま市の民話を元にした絵本の読み聞かせ、手遊びや実験などを登録・公開した。「としょ丸遊戯道場」に、おすすめ本の紹介やパズル、クイズなどを登録・公開した。	A	公開を開始した令和2年5月～令和3年3月までの閲覧回数は、としょ丸チャンネル24,295回、遊戯道場21,140回だった。	
	10	15	(4)さいたま市ゆかりの児童書の収集と紹介	資料サービス課	「さいたまゆかり」コーナーの充実	石井桃子と瀬田貞二を中心に、さいたま市ゆかりの児童文学者の著作や関連資料の収集、展示、講演会や紹介を行う。	さいたま市ゆかりの児童文学者情報のホームページ更新、資料の収集。	B	令和元年度に中央図書館で開催したさいたま市ゆかりの児童文学者記念講演会「児童文学者・瀬田貞二のまなざし」の講演録を図書館ホームページに公開した。また、さいたま市ゆかりコーナーに児童文学に関連する資料を58冊受け入れた。	
	11	16	(5)障害のある子どもへのサービスの充実	資料サービス課	バリアフリーサービス	障害のある子どもたちに、障害に応じた読書サービスを行う。	ボランティア団体による点訳絵本の作成	B	中央図書館等のボランティアグループ活動により、39冊(昨年43冊)の絵本を点訳した。	
							特別支援学校・特別支援学級を対象とするおはなし会の実施	B	特別支援学校・特別支援学級への訪問や図書館招待を行い、市内図書館で合計3回(昨年度13回)、35人(同124人)に集会行事等を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年に比べ実施回数が大幅に減少した。	
							マルチメディアデジジー、LLブックの収集	B	中央図書館等でマルチメディアデジジーを10点、LLブックを5冊収集した。	
	12	16	(5)多文化・多言語サービスへの取組	資料サービス課	多文化・多言語サービス	日本語を母国語としない子どもへのサービスとして、児童向けの外国語資料の収集や多言語によるおはなし会を開催する。	多言語おはなし会の実施	-	大宮図書館で合計1回(昨年度9回)実施し、4人(同322人)が参加した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年に比べ実施できなかった。	
外国語児童書の展示							B	各館で年度中に合計7回(昨年6回)、外国語絵本等の展示を行った。		
外国語児童書の収集							B	各館合計で478冊(昨年315冊)の外国語児童書を新たに受け入れた。		

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。

3つの基本方針

(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書



施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和2年度の事業実績		令和2年度の目標達成度	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由
3 図書館での取組	13	16	(7)学校図書館への支援の充実	北浦和図書館	学校図書館支援センター事業	小・中・高等学校及び特別支援学校、教育相談室の授業や取組を図書の側面から支援する。	学校図書館向け図書の団体貸出の実施	B	小・中・高等・中等教育・特別支援学校、教育相談室へ21,756点の団体貸出を実施した。	
							学校図書館からのレファレンスへの対応	B	申込があった7件に回答した。	
							教科書関連図書の充実	B	教科書改訂に伴い新たな単元に対応した図書を含む975冊の図書を購入し、例年以上に資料の充実を図った。(令和元年度購入冊数905冊)	
	14.1	16	(8)学校との連携の推進	資料サービス課	学校との連携推進	学校と連携して児童生徒の読書活動を推進する取組を行う。	読書手帳の配布	B	「とよ丸どくしょてちょう(1~2年生向き)」を30,000部増刷し、図書館と学校で配布。市立小学校1年生には全員配布した。また「3~6年生向きとよ丸読書手帳」を、図書館で配布した。	
							職場体験の受入れ	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職場体験学習が実施されなかった(昨年度は204人受け入れた)。	
							学校訪問(図書館職員によるブックトークや読み聞かせ)の実施	-	各図書館から職員が学校を訪問し、合わせて787人(昨年度2,636人)に本の紹介等を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大幅に減少した。	
							学校招待(図書館見学他)の実施	-	各図書館において図書館見学や町探検で来館した児童合わせて3,976人(昨年度5,777人)に、図書館案内や貸出し体験を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大幅に減少した。	
	14.2			大宮西部図書館	小・中学校向け学級文庫用図書の貸出	身近に本がある環境を作り不読者の割合を減らすため、学級単位で利用する図書のセットを作り対象の学年に対して学級数分のセットの貸出をする。	市立小・中・特別支援学校への学級文庫用図書の貸出を実施	B	令和2年度は小学校44校(前年度45校)、中学校11校(前年度16校)、特別支援学校1校(前年度1校)に対して貸出を実施した。	
	15	17	(9)保育所・幼稚園との連携の推進	資料サービス課	保育所・幼稚園との連携推進	保育所や幼稚園の園児へ読み聞かせや絵本の貸出を行う。また、団体利用者カードの登録を受け付け、団体貸出を行う。	保育所や幼稚園の園児を対象としたおはなし会の実施	-	各図書館において保育所・幼稚園への訪問や図書館招待を、合わせて3,438人(昨年度8,352人)の園児におはなし会を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大幅に減少した。	
							保育園や幼稚園への団体貸出	-	各図書館において、保育園や幼稚園を対象に6,040冊(昨年度15,169冊)の貸出しを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、貸出の機会が大幅に減少した。	
16	17	(10)子どもの読書活動推進に関わるボランティアの支援	資料サービス課	子どもの読書活動推進に関わるボランティア支援	子どもの読書活動に関わるボランティアを支援するため、情報提供や講座の開催を行う。	『ボランティア向け読み聞かせブックリスト』、『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト』の配布	B	『ボランティア向け読み聞かせブックリスト』を1,000部増刷し各図書館で配布した。また、『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト』も各図書館で配布した。		
						読み聞かせボランティアを対象とした読書指導や講座の開催	-	各図書館において講座を開催したり、図書館職員が学校の読み聞かせボランティアを指導したりするなど、延べ10回(昨年度23回)実施し、111人(同425人)が参加した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催回数は大幅に減少した。		
						図書ボランティア等の活動を希望する方への情報提供	C	庁内の掲示板でボランティア受け入れ希望の調査を行った結果、希望がなかったため、情報提供していない。		

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。

3つの基本方針
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和2年度の事業実績		令和2年度の目標達成度	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)	達成度	達成度の理由	
3 図書館での取組	17	17	(11)児童サービス担当職員の養成	資料サービス課	児童サービス担当職員の研修	児童サービス担当職員の育成を行うため、内部研修の実施、及び外部研修への参加を促す。	児童サービス担当者研修会の実施	B	児童サービス担当者の初任者向け研修を年間4回計画し、3回開催した(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第4回は中止。)	
							児童サービス研修会への参加	B	各図書館から埼玉県図書館協会主催の研修会に年間2回参加した。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第3・4回は中止。)	
							児童図書館員養成専門講座への参加	-	図書館から1名、日本図書館協会主催の研修会(前期・後期)に参加予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	
4 学校での取組	18	18	(1)学校図書館の環境整備	指導1課	学校図書館の環境整備	児童生徒の主体的な読書活動や学習を支援できるように、図書の配架、推薦図書の展示、室内レイアウト等の環境整備に努める。	各学校における学校図書館の環境整備	B	すべての市立小・中・中等教育・特別支援学校において、司書教諭と学校図書館司書の間で連携を図りながら、年間を通して利活用しやすい学校図書館づくりが行われた。また、カウンターや机、蔵書の消毒、密を避けるため分散しての学校図書館の利用など、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも環境整備が行われた。	
	19	18	(2)読書習慣の形成と自主的な読書活動の活性化	指導1課	読書に関する取組の充実	児童生徒の読書への関心を高め、読書活動の推進を図る取組を行う。	各学校における読書イベントや継続的な読書指導の工夫 全校一斉読書の取組の実施	B	コロナ禍においても、感染症拡大防止の対策を十分に講じながら「読書週間」や「冬の読書キャンペーン」に関わるイベントや各校独自の読書指導の工夫が行われた。 また、小学校では98.1%、中学校では94.8%の学校で、全校一斉読書の取組を実施した。	
	20	19	(3)学校図書館を活用した授業などの学習指導の充実	指導1課	学校図書館を活用した授業の充実	学校図書館の機能を活用し、児童生徒の主体的で意欲的な学習活動を支援する。	各学校における学校図書館や図書資料を活用した授業の実施	B	7月から2月までの期間(4~6月及び3月は臨時休校により比較不能なため除く)に学校図書館や図書資料を活用した授業の総時数は、令和元年度の51,869時間に対して、令和2年度は57,166時間となり、5,297時間増加した。	
	21	19	(4)学校図書館コンピュータの整備による機能的な学校図書館運営の支援	教育研究所	学校図書館のICT環境整備	耐用年数を経過した学校図書館コンピュータの入替を順次行うとともに、令和2年度には学校図書館コンピュータのセンターサーバの入替を行い、機能的な学校図書館運営に努める。	・市内25校の小・中学校の学校図書館コンピュータの入替を行った。 ・学校図書館センターサーバの入替を行った。	B	市内25校の小・中学校の学校図書館コンピュータの入替を順次行った。また、学校図書館センターサーバについても入替を行い、学校図書館運営の機能性向上につながった。	
	22	19	(5)学校図書館ネットワークの充実	指導1課	学校図書館資源共有ネットワーク事業	学校と公共図書館、教育研究所を結ぶネットワーク便を運行する。	市立学校と公共図書館、教育相談室、教育研究所を結ぶネットワーク便の運行	B	ネットワーク便の運行週数を36回とし、年度初めから年度末まで安定した運行を行うことにより、学校図書館の資源を共有し、各学校で充実した読書活動を行うことができた。	
	23	20	(6)保護者や地域のボランティアとの連携による学校図書館の充実	指導1課	学校図書館における保護者や地域との連携	保護者や地域と連携し、学校図書館の環境整備や児童生徒の読書活動の推進を図る。	各学校における学校図書館環境整備や読書活動における保護者や地域のボランティアの活用	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から地域ボランティアの読み聞かせなどの実施が難しい部分もあったが、各学校の実態に応じて、保護者や地域のボランティアを活用した読書活動の充実を図ることができた。	
	24	20	(7)「子ども読書の日」に関する取組の充実	指導1課	「子ども読書の日」に関する取組の充実	学校における「子ども読書の日」に関する意識を高め、取組を充実させる。	各学校における「子ども読書の日」に関わる読書イベントの実施	-	令和2年度「子ども読書の日」については、学校が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からの臨時休校期間中だったため、取組を実施することができなかった。	

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表

達成度	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。

3つの基本方針
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

変更しないでください

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和2年度の事業実績		令和2年度の目標達成度	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)	達成度	達成度の理由	
4 学校での取組	25	21	(8)市立高等学校の読書活動の推進	高校教育課	市立高等学校の読書活動の推進	生徒の読書離れの対策を市立図書館と連携して取り組んでいく	・市立高校POPバトルの実施 ・市立図書館との交換展示の実施 ・各校の特色を生かした読書活動の推進(学校図書館だより、新刊PRポスター、家庭科での読み聞かせをテーマにした授業)	B	コロナ禍で限られた環境だったが、今までの取組をできる限り踏襲し、各校の実態に応じて事業を実施することができた。「送受信」を意識し、さまざまな事業を通して、学校内はもちろんのこと、学校間や地域との交流を深めることができた。	
5 保育園や幼稚園での取組	26	21	(1)絵本に親しめる環境づくり	保育課	絵本等の読み聞かせの充実	日常の保育の中に、絵本等の読み聞かせの機会を多くつくる。	日々の保育の中での絵本等の読み聞かせを実施した。	B	日常的に絵本等に親しみ、楽しむことができた。	
	27	21	(2)保護者へ読み聞かせの大切さを発信	保育課	保護者への啓発	1日保育士体験を通して、読み聞かせの大切さや親子のかかわりの楽しさを伝える。	1日保育士体験・保育参加の中での絵本等の読み聞かせを行い、保護者にも読み聞かせの体験をもらった。	B	1日保育士体験・保育参加回数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために参加方法に制限があり、657回だったが(R元年度3,677回)、絵本を通して家庭における親子の会話や触れ合う時間が増えた。	
	28.1	21	(3)地域との連携推進	保育課	図書館・公民館や地域のボランティアとの連携	図書館や公民館による読み聞かせ会に参加したり、地域のお話ボランティアを保育園に招いたりして、地域との連携を図る。	図書館職員による読み聞かせ等の実施	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施園数が減少し、26園となったため。(R元年度 50園)	
							地域のボランティアによる読み聞かせ等の実施	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施園数が減少し、21園となったため。(R元年度 29園)	
							図書館での絵本の貸出し利用	B	35園で実施し、図書館と連携を図り絵本等に親しむことができた。(R元年度 37園)	
28.2	21		保育課	地域支援事業の充実	保育園の地域支援事業の充実を目指す。	地域子育て支援センターに来園した親子への絵本・紙芝居の読み聞かせを実施した。	B	地域子育て支援センターに来園した親子が読み聞かせを楽しみにしていた。		
	29	21	(4)保育士などの資質向上	保育課	職員研修の実施	保育士の資質向上のため、読み聞かせなどの研修会を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし	-	研修未実施のため	
計画の進行管理	30	9	さいたま市子ども読書活動推進計画に関する事業実施状況調査	資料サービス課	さいたま市子ども読書活動推進計画に関する事業実施状況調査	調査を毎年実施し、事業の充実を図る。	「さいたま市子ども読書活動推進計画」に係る所管課の事業実施状況の調査と、さいたま市ホームページへの公開	B	各課の取組状況を取りまとめ、フィードバックすることで、現状の課題と次年度以降の目標設定に役立てることができた。	
	31	9	読書調査(市立小・中・高等学校対象)	資料サービス課	読書調査の実施	市立小・中・高等学校を対象に読書調査を実施する。	市立小・中学生を対象にした読書調査を、さいたま市学習状況調査により実施 市立高校生を対象にした読書調査を図書館のアンケート調査により実施	B B	昨年度に引き続き全校調査により、小・中学生の読書状況を調査した。 昨年度に引き続き市立高等学校3校を対象に、抽出により高校生の読書状況を調査した。	